

## 小学校の在り方を検討する保護者アンケートの結果について

### 1. 目的

超低出生時代を迎えた津久見市の小学校の在り方について検討するとともに、魅力ある小学校づくりや、質の高い小学校教育を提供できる環境について検討するため、今後小学校に通わせる乳幼児保護者を対象にした調査を実施し、今後の検討委員会の参考にすることを目的としている。

### 2. 調査の概要

調査名：「小学校の在り方検討に関する保護者の意向調査」

調査方法：WEBアンケート(Logoフォームを利用)

調査期間：令和8年3月17日(金)～令和8年4月24日(金)

対象者：市内在住で0歳～6歳児の保護者 全233世帯(令和8年3月17日時点)

### 3. 回収状況

回答 110件(対象全世帯 233世帯) 全体回収率 47.2%

### 4. 結果の詳細について

#### ① 小学校教育に期待すること

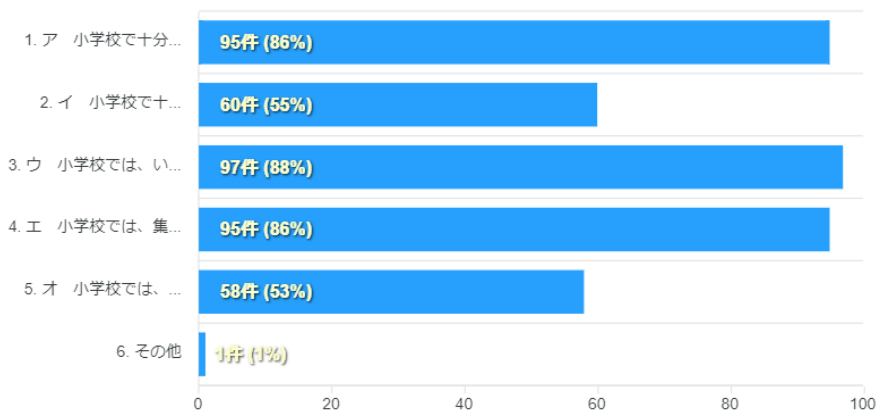
ア 小学校で十分な学力(基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体的に学習に取り組む態度など)をつけてほしい。

イ 小学校で十分な体力をつけてほしい。

ウ 小学校では、いじめなどなく、楽しく生活してほしい。

エ 小学校では、集団のルールや楽しむ方法を学んでほしい。

オ 小学校では、安心・安全に生活できるように、先生たちに相談にのってほしい。



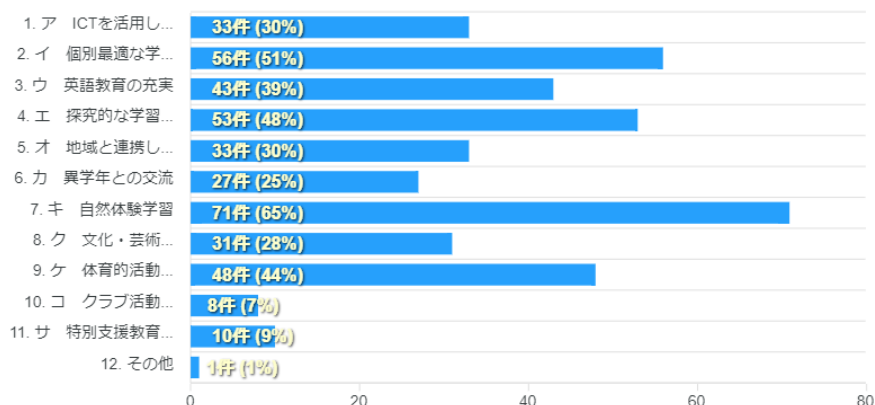
多くの保護者が以下を重視している。

- ・基礎学力の確実な定着
- ・安心・安全な学校生活
- ・いじめのない環境
- ・集団生活の中での人間関係づくり

「学力」と「安心できる環境」の両立が強く求められている。

② 小学校教育で特に重視してほしい学習活動

- ア ICT を活用した学習
- イ 個別最適な学習（習熟度に応じた指導など）
- ウ 英語教育の充実
- エ 探究的な学習の充実
- オ 地域と連携した学習
- カ 異学年との交流
- キ 自然体験活動
- ク 文化・芸術活動や行事の充実
- ケ 体育的活動や行事の充実
- コ クラブ活動の充実
- サ 特別支援教育の充実
- その他



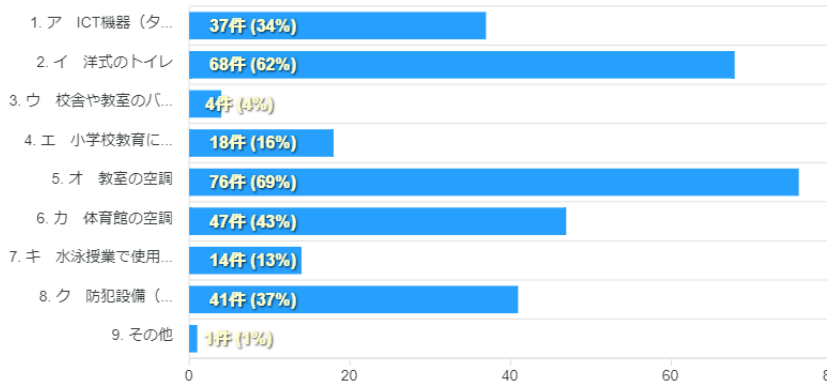
重視してほしい学習活動

- ・自然体験学習
- ・個別最適な学習（習熟度に応じた指導）
- ・探究的な学習の充実
- ・体育的活動、英語教育など

多様な学びと個に応じた指導へのニーズが高い。

③ 小学校の施設・整備であった方がよいと思うもの

- ア ICT 機器（タブレット、電子黒板など）の整備
- イ 洋式のトイレ
- ウ 校舎や教室のバリアフリー化（スロープ、エレベーターなど）
- エ 小学校教育に必要な蔵書を備えた図書室
- オ 教室の空調
- カ 体育館の空調
- キ 水泳授業で使用できるプール
- ク 防犯設備（カメラ・施錠など）
- その他

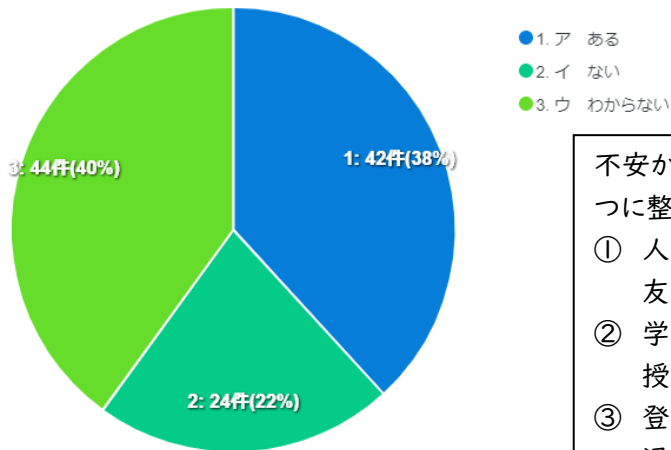


望ましい施設・整備

- ・空調設備（教室・体育館）
- ・洋式のトイレ
- ・ICT 環境の整備
- ・防犯対策

安全・快適な学習環境への期待が大きい。

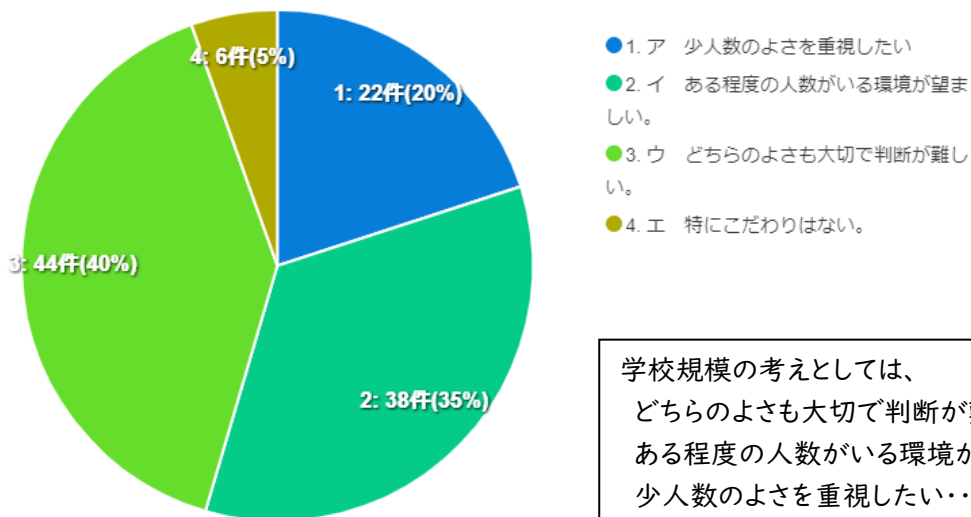
④ 小学校に進学するにあたって、不安に思うことはありませんか。



不安があると答えた理由から、主な不安は以下の5つに整理できる。

- ① 人間関係・いじめ  
友だちができるのか。いじめやトラブル
- ② 学力・学習面  
授業についていけるか。学力差への不安
- ③ 登下校・安全面  
通学距離、一人での登下校での不安
- ④ 学校規模・少人数化  
児童数の減少。複式学級への不安
- ⑤ 特別支援・個別対応  
支援体制の充実

⑤ 学校規模の考えに最も近いものをお答えください。



学校規模の考えとしては、  
 どちらのよさも大切で判断が難しい……40%  
 ある程度の人数がいる環境が望ましい…35%  
 少人数のよさを重視したい……………20%

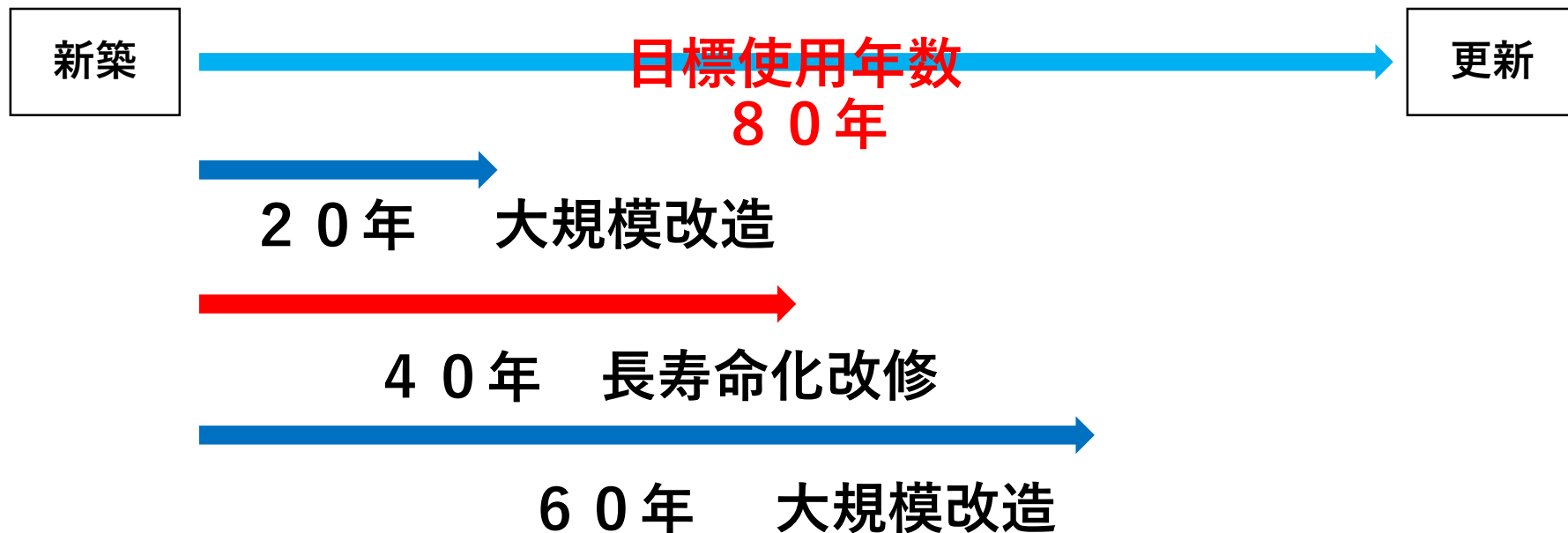
特定の規模に意見が集中している状況ではない。  
 多くの保護者が両方の良さを踏まえて検討が必要と  
 考えている。



## ～津久見市における学校施設の目標使用年数と更新周期～

## ◎目標使用年数、更新周期の設定

目標使用年数を80年とし、大規模改造の周期を概ね20年、60年、長寿命化改修の周期を概ね40年とします。（「津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）」より抜粋）



## ◎長寿命化改修

学校施設の長寿命化改修とは、老朽化した校舎の構造躯体（柱や梁）を活かしながら、内外装や設備を更新・改良し、目標耐用年数（80年程度）まで安全に使い続ける改修手法です。単なる修繕ではなく、バリアフリー化、断熱性能向上、ICT対応など現代の教育環境に合わせた機能向上を同時に行う「レトロフィット」（※1）の視点が特徴です。

## ◎大規模改造

学校施設の大規模改造とは、建築後20年以上経過した校舎や体育館などの老朽化に伴い、建て替えずに内外装の模様替え、配管設備、耐震補強工事などを総合的に行い、建物の寿命を延ばす（長寿命化）工事のことです。安全な教育環境の確保と、建替え費用の平準化・削減を目的としています。

## ◎新築

学校施設の新築とは、老朽化した校舎の建て替えや、児童・生徒数の増減、教育環境の向上を目的に、新たな校舎や体育館などを建設する事業です。耐震化、木材利用、ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）化（※2）、防災拠点化などを考慮し、安全で環境に配慮した「開かれた学校」づくりが行われています。

※1 旧式の機械や設備に最新の技術や部品を組み込み、新品同様の性能や新機能を追加して「現代化」する技術・手法

※2 快適な室内環境を保ちながら、高断熱化・高効率設備でエネルギー消費を減らし（省エネ）、太陽光発電などでエネルギーを創る（創エネ）ことで、年間の一次エネルギー消費量を実質ゼロにする建物（オフィスや学校など）のこと

# ◆市内4校の施設の状況◆

津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）より抜粋

施設名	建物	面積 (㎡)	建築年度	経過年数	耐震安全性			試算上の区分	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強		
堅徳小学校	体育館	600	S55	46	旧	済	済	長寿命	81
堅徳小学校	校舎①	1585	S60	41	新			長寿命	62
堅徳小学校	校舎②	583	H21	17	新			長寿命	93
青江小学校	校舎①	1784	S59	42	新			長寿命	62
青江小学校	校舎②	715	H26	12	新			長寿命	100
青江小学校	体育館	612	H27	11	新			長寿命	100
津久見小学校	校舎①	1186	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎②	893	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎③	967	S61	40	新			長寿命	37
津久見小学校	体育館	1000	S57	44	新			長寿命	31
津久見小学校	校舎④	1123	H16	22	新			長寿命	91
千怒小学校	校舎①	1350	S53	48	旧	済	済	長寿命	10
千怒小学校	校舎②	622	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	校舎③	454	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	体育館	617	H7	31	新			長寿命	75

→ 令和3年～令和12年度長寿命化改修を予定（現計画）

# ◆市内4校の施設の状況◆

津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）より抜粋

施設名	建物	面積 (㎡)	建築年度	経過年数	耐震安全性			試算上の区分	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強		
堅徳小学校	体育館	600	S55	46	旧	済	済	長寿命	81
堅徳小学校	校舎①	1585	S60	41	新			長寿命	62
堅徳小学校	校舎②	583	H21	17	新			長寿命	93
青江小学校	校舎①	1784	S59	42	新			長寿命	62
青江小学校	校舎②	715	H26	12	新			長寿命	100
青江小学校	体育館	612	H27	11	新			長寿命	100
津久見小学校	校舎①	1186	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎②	893	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎③	967	S61	40	新			長寿命	37
津久見小学校	体育館	1000	S57	44	新			長寿命	31
津久見小学校	校舎④	1123	H16	22	新			長寿命	91
千怒小学校	校舎①	1350	S53	48	旧	済	済	長寿命	10
千怒小学校	校舎②	622	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	校舎③	454	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	体育館	617	H7	31	新			長寿命	75

→ 次期計画（2031（R13）年度以降の計画）の際は、検討の対象になると思われる施設

# ◆市内4校の施設の状況◆

津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）より抜粋

施設名	建物	面積 (㎡)	建築年度	経過年数	耐震安全性			試算上の区分	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強		
堅徳小学校	体育館	600	S55	46	旧	済	済	長寿命	81
堅徳小学校	校舎①	1585	S60	41	新			長寿命	62
堅徳小学校	校舎②	583	H21	17	新			長寿命	93
青江小学校	校舎①	1784	S59	42	新			長寿命	62
青江小学校	校舎②	715	H26	12	新			長寿命	100
青江小学校	体育館	612	H27	11	新			長寿命	100
津久見小学校	校舎①	1186	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎②	893	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎③	967	S61	40	新			長寿命	37
津久見小学校	体育館	1000	S57	44	新			長寿命	31
津久見小学校	校舎④	1123	H16	22	新			長寿命	91
千怒小学校	校舎①	1350	S53	48	旧	済	済	長寿命	10
千怒小学校	校舎②	622	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	校舎③	454	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	体育館	617	H7	31	新			長寿命	75

→ 大規模改造の検討が必要な施設と検討の周期が近い施設。

# ◆千怒小学校の改修計画◆

## 津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）より抜粋

施設名	建物	面積 (㎡)	建築年度	経過年数	耐震安全性			試算上の区分	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強		
千怒小学校	校舎①	1350	S53	48	旧	済	済	長寿命	10
千怒小学校	校舎②	622	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	校舎③	454	S63	38	新			長寿命	75
千怒小学校	体育館	617	H7	31	新			長寿命	75

  → 当初、3施設（2426㎡）を長寿命化改修で計画し設計。



出典：Google Maps 航空写真

### ◎全体工事費 15億3474万9700円

（建築主体・電気設備・機械設備・仮設校舎建築・外構工事・EVの新設・渡り廊下工事）※引越し費用、備品購入費含まず。

【参考】旧第一中学校...校舎3600㎡+増築+外構など 約13億円

### ◎計画では全体工事費 約7億～8億円

（旧第一中学校の改修単価+物価高騰分+仮設校舎で見込む）

ここから、財政協議して設計工事費確定し予算化する予定であった。



●計画との乖離が大きく、優先度の高い部分から可能な範囲で改修工事を実施する方向に変更し、工事開始を1年延期（R9開始）した。R8年度変更設計着手。

# ◆津久見小学校の改修計画◆

## 津久見市学校施設長寿命化計画（令和3年3月策定）より抜粋

施設名	建物	面積 (㎡)	建築年度	経過年数	耐震安全性			試算上の区分	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強		
津久見小学校	校舎①	1186	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎②	893	S50	51	旧	済	済	長寿命	16
津久見小学校	校舎③	967	S61	40	新			長寿命	37
津久見小学校	体育館	1000	S57	44	新			長寿命	31
津久見小学校	校舎④	1123	H16	22	新			長寿命	91

→ 令和3年～令和12年度長寿命化改修



### ◎校舎全体工事費（仮）19億9539万1200円

千怒小の改修建築単価（R7時点）@517,210円×3046㎡=1,575,391,200円  
 仮設校舎 R7学級数 9学級+支援+学校支援センターなど 千怒小仮設校舎  
 建築時の1.5倍と仮定 280,000,000円×1.5=420,000,000円  
 【参考】（千怒小 6学級など）

### ◎体育館も長寿命化改修工事対象

**全体工事費（仮）2億4240万円～3億6360万円以上？**

費用の目安として坪単価で約80万～120万円前後が指標とされているが、近年の物価高騰により上昇傾向。  
 現在の面積1000㎡（約303坪）で算定すると

※物価・人件費の高騰から単価は更に上昇するのではないか？



## 大分県：県と市の広域連携による災害対応力強化と地域脱炭素の両立への挑戦！

～避難時のQOLを高める給湯モデルの構築～

脱炭素先行地域の対象：広域防災拠点エリア、地域防災拠点及び避難所施設群

主なエネルギー需要家：公共施設(63施設)、民間施設(3施設)

共同提案者：佐伯市、臼杵市、津久見市、うすきエネルギー(株)、(株)大分銀行、大分県信用組合、国立大学法人大分大学

### 取組の全体像

レジリエンス強化が特に必要な**広域防災拠点や南海トラフ地震特別強化地域の防災拠点等への対策**を再エネ設備等を活用して実施。特に地域に防災井戸が存在する等の地域特性から**給湯に着目**。最大限**ヒートポンプ給湯器に転換**するとともに、平時より**エリア・施設群両面のエネマネ**を実施し、効率的なエネルギーの活用方法を検討することで、**電源確保にとどまらない社会インフラの拡充**に取り組む。また、**大分大学と連携し避難者数や給湯需要量等の予測**、各施設の給湯能力、入浴者の優先順位の考え方等をまとめた「**給湯プラン**」を整理する等、ハード・ソフト両面から取組を推進し**避難時の快適性向上**を図る。これらの取組を**3市と連携し県が主導**して推進することで、**都道府県が基礎自治体と共同・連携**し、脱炭素と地域課題解決の同時達成を行うモデルを確立する。

### 1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 県有施設やクラブハウス等からなる広域防災拠点エリアの各施設へ太陽光発電設備(約1,350kW)・大型蓄電池(1件、約2,000kWh)、蓄電池(1件、約150kWh)・**ヒートポンプ給湯器**(1件)を**官民連携**して導入
- ② **県と連携**しながら3市の地域防災拠点及び避難所施設群へ太陽光発電設備(約1,050kW)・蓄電池設備(31件、約1,300kWh)・**ヒートポンプ給湯器**(25件)を導入
- ③ 施設単位だけでなく、**エリア全体・施設群全体でのエネマネ**を実施



広域防災拠点



防災・脱炭素に関するイベントのイメージ

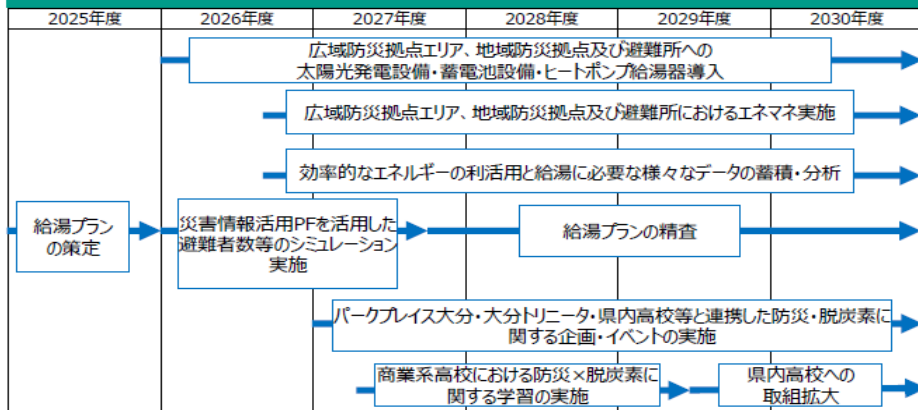
### 2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 平時より**給湯(熱)の脱炭素化を実現**。エネマネと併せて実施し、効率的なエネルギーの利活用と給湯に必要な様々なデータを蓄積・分析
- ② 大分大学開発の**災害情報活用プラットフォーム「EDISON」**を活用し、避難者数等のシミュレーションを実施するとともに入浴者の優先順位の考え方等をまとめた「**給湯プラン**」を整理。さらに平時の給湯データも活用し、より有効なものに精査
- ③ **商業施設「パークプレイス大分」やプロサッカークラブ「大分トリニータ」、高校等と連携**して**防災・脱炭素に関する企画・イベント**を定期的実施
- ④ 年間の**教育カリキュラムに位置付け**、商業系高校で**防災×脱炭素に関する学習**を実施し、順次**県内の高校に取組を拡大**

### 3. 取組により期待される主な効果

- ① 広域防災拠点・地域防災拠点等の各施設の**レジリエンス強化と脱炭素化**を同時実現。さらに給湯のハード・ソフト両面のインフラ整備により、**避難時の快適性も併せて確保するモデルの構築**と当該モデルを**県内外へ展開**
- ② 平時での施設単位・エリア単位等でのエネマネにより、給湯(ヒートポンプ給湯器)の利活用も含めた**効率的なエネルギーの利活用のモデルを構築し、県内外に展開**。さらに**行政部門だけでなく民生部門の取組の推進に貢献**
- ③ **パークプレイス大分・大分トリニータ等と連携した企画・イベント**、県内高校での脱炭素×防災の学習に関する取組等を複合的に実施し、**県民の防災・脱炭素に対する機運醸成と行動変容を促進**

### 4. 主な取組のスケジュール



# ◆津久見市での事業内容◆

体育館への高効率空調設備導入  
【事業実施主体：津久見市】

高効率空調設備導入  
【事業実施主体：津久見市】

津久見中学校

千怒小学校

津久見小学校

青江小学校

旧第二中学校

太陽光発電設備の導入・蓄電池設備の導入  
【事業実施主体：民間事業者】

LED照明設備の導入・高効率給湯器の導入  
【事業実施主体：津久見市】

**総事業費 約4億6千万円**

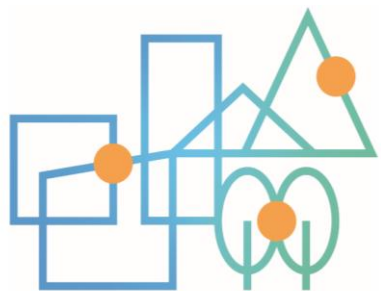
◎環境省の所管で **2/3**の補助を受けられる。

◎文科省の場合...体育館空調 **1/2**の補助。

堅徳小学校

体育館空調...文科省の補助を使って整備できないか？検討

ロゴ



脱炭素先行地域  
大分県津久見市

# 児童数の推移

資料 2 - 2

令和7年度 児童数 (R8.2.1 実数)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	13	6	10	5	7	5	46
青江	23	24	19	21	16	22	125
津久見	42	36	30	26	41	34	209
千怒	20	19	21	15	15	11	101
保戸島	0	1	0	0	0	0	1
計	98	86	80	67	79	72	482

令和8年度 児童数 (R8.4.10実数)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	6	10	5	7	5	11	44
青江	24	19	21	16	22	12	114
津久見	36	31	25	40	34	22	188
千怒	20	21	15	15	10	11	92
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	86	81	66	78	71	56	438

令和9年度 児童数 (R7.5.21現在の新生児調べからの推計)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	10	5	7	5	11	9	47
青江	19	21	16	22	12	9	99
津久見	31	25	40	34	22	22	174
千怒	21	15	15	10	11	11	83
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	81	66	78	71	56	51	403

令和10年度 児童数 (R7.5.21現在の新生児調べからの推計)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	5	7	5	11	9	6	43
青江	21	16	22	12	9	17	97
津久見	25	40	34	22	22	23	166
千怒	15	15	10	11	11	8	70
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	66	78	71	56	51	54	376

令和11年度 児童数 (R7.5.21現在の新生児調べからの推計)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	7	5	11	9	6	5	43
青江	16	22	12	9	17	11	87
津久見	40	34	22	22	23	15	156
千怒	15	10	11	11	8	6	61
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	78	71	56	51	54	37	347

令和12年度 児童数 (R7.5.21現在の新生児調べからの推計)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	5	11	9	6	5	7	43
青江	22	12	9	17	11	13	84
津久見	34	22	22	23	15	15	131
千怒	10	11	11	8	6	8	54
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	71	56	51	54	37	43	312

令和13年度 児童数 (R7.5.21現在の新生児調べからの推計)

学校 \ 学年	6年生	5年生	4年生	3年生	2年生	1年生	全校生徒数
堅徳	11	9	6	5	7	8	46
青江	12	9	17	11	13	12	74
津久見	22	22	23	15	15	10	107
千怒	11	11	8	6	8	8	52
保戸島	0	0	0	0	0	0	0
計	56	51	54	37	43	38	279

→複式学級となる可能性のある学年 (※転入転出で変動します)

## 参考資料 (津久見市史より)

表1 津久見市内小中学校の概況

(昭和59.5.1現在)

学 校 名	所 在 地	通 学 区 域	学級数	児童生徒数	教職員数	現 任 学 校 長
長 目 小 学 校	津久見市大字長目1698番地	大字長目 (字無垢島を除く)	5	53	8	三 浦 兼 善
堅 徳 小 学 校	津久見市大字堅浦3の1番地	大字堅浦、大字徳浦、徳浦本町、徳浦宮町、合ノ元町	12	291	18	石 尾 三 治
青 江 小 学 校	津久見市大字上青江3537番地	大字上青江、大字下青江、灣町、セメント町、元町、井無田町、新町、志手町、入船東町、入船西町、地蔵町、小園町、中央町の一部、門前町、中町、岡町	19	666	26	城 保
津 久 見 小 学 校	津久見市立花町1番7号	大字津久見、大字津久見浦、中央町(一部を除く)、宮本町、上宮本町、高洲町、岩屋町、大友町、中田町、立花町、文京町	26	966	33	山 村 儀 一
津久見小学校八戸分校	津久見市大字八戸433番地の1	大字八戸	休 校 中			
千 怒 小 学 校	津久見市大字千怒1400番地	大字千怒	11	257	16	立 川 正 人
日 代 小 学 校	津久見市大字網代1535番地の2	大字日見、大字網代 (字赤崎を除く)	6	118	9	根之木 満
赤 崎 小 学 校	津久見市大字網代5666番地	大字網代のうち字赤崎、大字四浦のうち字片鼻	3(4)	28	6	横 山 義 喜
仙 水 小 学 校	津久見市大字四浦1533番地	大字四浦のうち字鳩浦、字荒代	4	26	6	山 下 利 和
久 保 泊 小 学 校	津久見市大字四浦2944番地	大字四浦のうち字刀自ヶ浦、字久保泊、字深良津	3(4)	26	6	塩 月 昇
越 智 小 学 校	津久見市大字四浦5893番地の2	大字四浦のうち字落ノ浦、字田ノ浦、字榎木、字松ヶ浦、字狩床、字大元、字西泊、字間元、字高浜	4	49	9	加 嶋 勇
保 戸 島 小 学 校	津久見市大字保戸島21番地の2	大字保戸島	10	279	16	小 野 義 友
無 垢 島 小 学 校	津久見市大字長目2648番地の2	大字長目のうち字無垢島	3(4)	8	7	吉 田 清 年
第 一 中 学 校	津久見市文京町1番6号	長目小学校区、津久見小学校区、八戸分校区、千怒小学校区	16	652	29	佐 藤 和 幸
第 二 中 学 校	津久見市元町11番29号	堅徳小学校区、青江小学校区、	14	516	25	葉師寺 浩
日 代 中 学 校	津久見市大字網代1538番地の7	日代小学校区、赤崎小学校区のうち大字網代分	3	74	10	渡 邊 敬 三
四 浦 西 中 学 校	津久見市校大字四浦2073番地の2	仙水小学校区、赤崎小学校区のうち大字四浦分	2(3)	10	8	大 村 新 平
四 浦 東 中 学 校	津久見市大字四浦3968番地	越智小学校区、久保泊小学校区	3	38	10	上 野 嘉 彦
保 戸 島 中 学 校	津久見市大字保戸島21番地の36	保戸島小学校区	5	153	13	成 松 整
無 垢 島 中 学 校	津久見市校大字長目2648番地の2	無垢島小学校区	1(2)	5	4	吉 田 清 年 (無垢島小学校校長兼務)
津 久 見 養 護 学 校	津久見市大字上青江3549番地	市内全域	9	23	21	金 治 襄

児童数計 2767人

525

注. ( )内は実学級数

『津久見市例規集』による。

## これからの小学校のかたち ～新しい学びの風景～

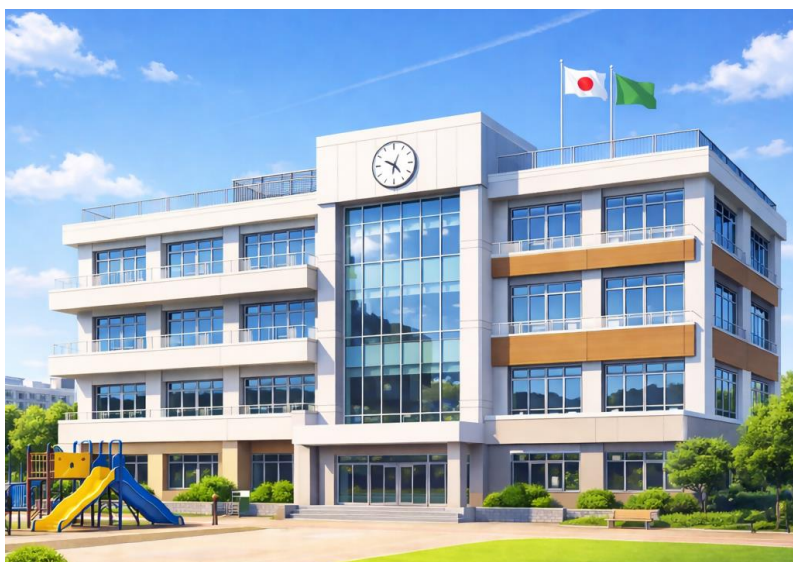
これからの小学校の校舎には、単に「教室が並ぶ建物」ではなく、子どもたちの学び方や過ごし方に合わせて柔軟に変化できる空間が求められています。

文部科学省の「新しい時代の学びを実現する学校施設」では、次のような視点が重視されています。

1. 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現
2. 新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現
3. 地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間を実現
4. 子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境を実現
5. 脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境を実現

これらの視点をもとにイラストを作成しています。

## 居場所となる温かみのある空間（明るい校舎・広い階段や廊下）



## ロッカースペース等の配置の工夫による空間（廊下）



トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化



1人1台端末環境等に対応したゆとりのある教室



多目的スペースの活用による多様な学習活動



## ● 教職員スペースに必要な「場」

教職員スペースの充実のためにどのような場をつくるか、次の4つの「場」として整理する。

### 個人作業のための場

# 1

教材作成、成績処理、  
リモート会議 他

### 協働作業のための場

# 2

打合せ、多様な専門  
職との連携、教材作  
成、リモート会議  
他

### リフレッシュの場

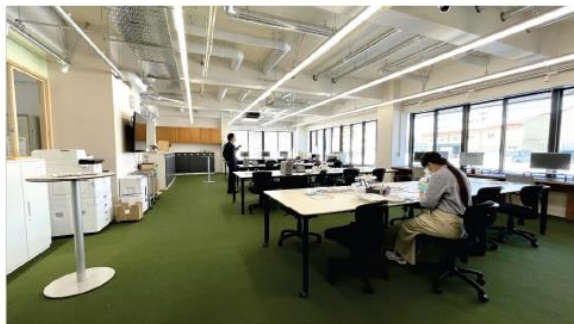
# 3

休憩、気分転換、談  
話、休養 他

### 子供たちとコミュニケーションを取るための場

# 4

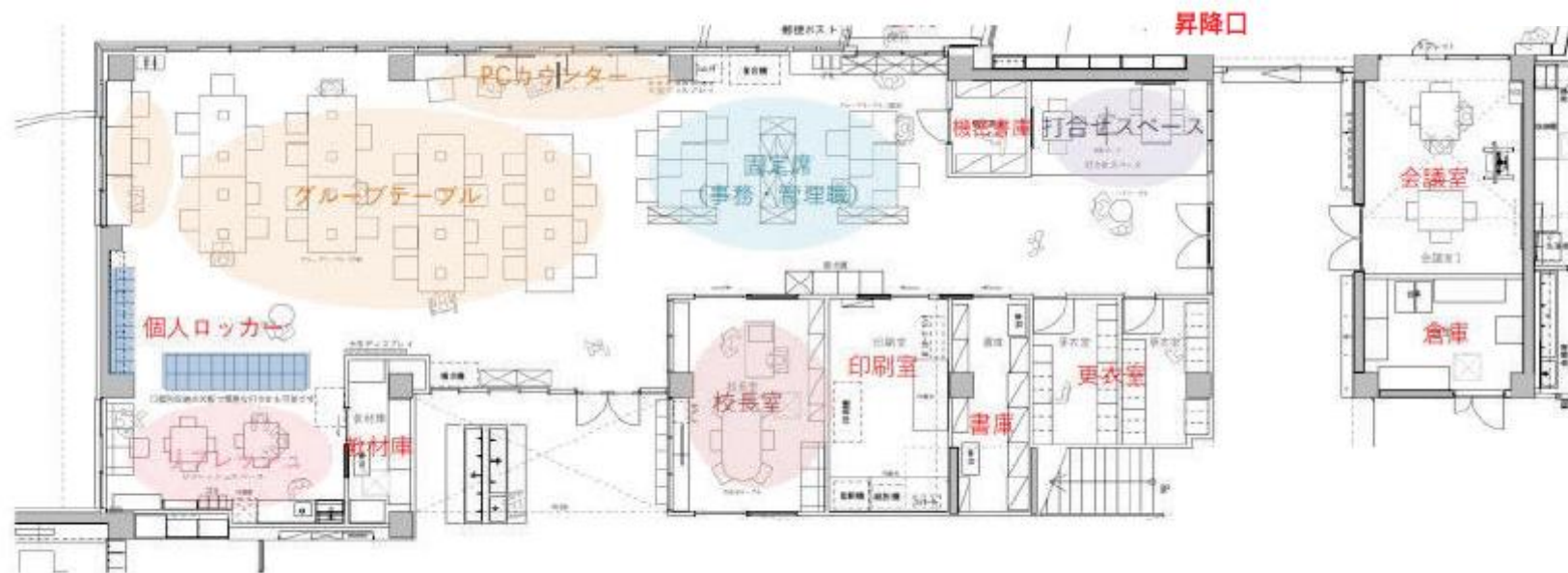
学習内容や進路等の  
相談 他



グループテーブルエリア



個人ロッカー、リフレッシュスペース



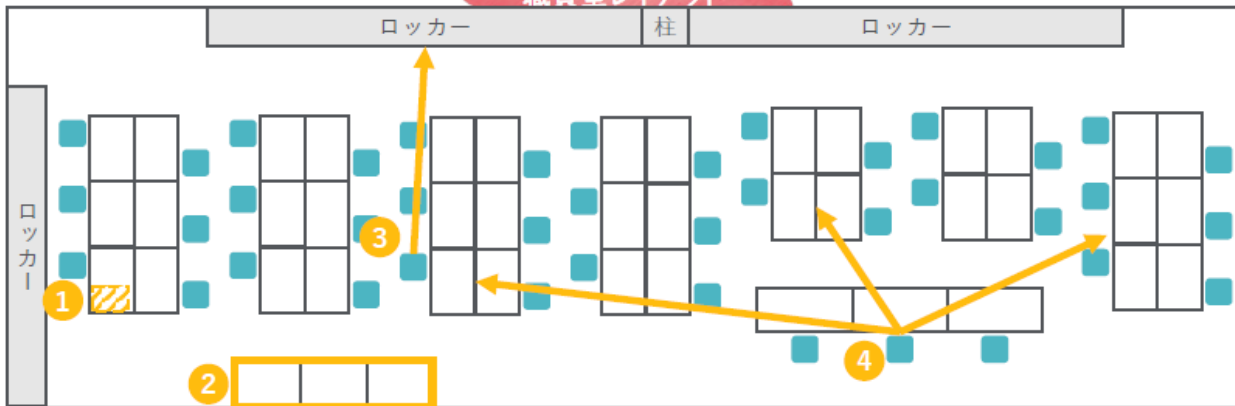
開放的で自由度の高い空間を実現したフリーアドレスの教職員室(北海道安平町立早来学園義務教育学校)

(資料) 国立教育政策研究所文教施設教育センター「教職員スペースの在り方に関する調査研究」成果報告書より

## 職員室のレイアウトの見直し

新設校として職員室のレイアウトを通常のものから大きく見直したという埼玉県吉川市立吉川中学校のお話を伺いました。

### 職員室レイアウト



- |   |                            |   |   |
|---|----------------------------|---|---|
| 1 | 机の下の引き出しは<br>キャスター付きで移動できる | ▶ | 年度途中でも席替えができる                               |
| 2 | 個人用のワークスペースを確保             | ▶ | 集中して個人で作業する時間と同僚同士で<br>話す時間を分けて効率的に働くことができる |
| 3 | 縦長に机を連ねるのではなく<br>島ごとに机を配置  | ▶ | どの席からも壁にある<br>ロッカーへの動線が短くなる                 |
| 4 | 管理職の席を横長の中央に配置             | ▶ | 管理職が全体を見渡しやすい                               |

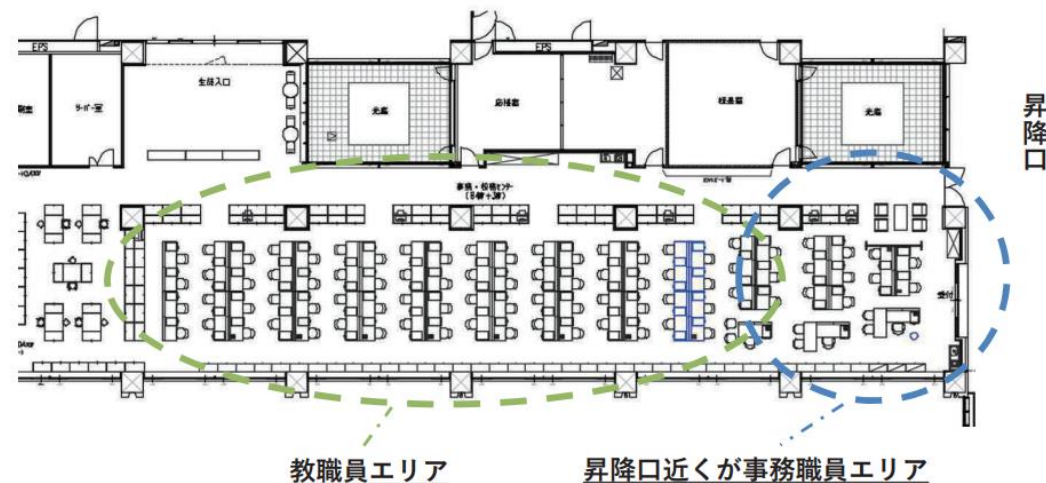
### 他の学校と比べて、職員室のレイアウトで特にいいなと思う点はどのようなところですか？

- A. 多くの学校の職員室は縦にズラっと机が並んでいると思うのですが、本校では島ごとに机が配置されることで、ロッカーに物を取りに行ったりする動線が短いですし、狭い通路を何人も通ることがないので、動きやすいと思います(上記の図③)。
- A. また、管理職が一人一人と会話をしやすいように思います。ちょっと声をかけるといったことがしやすいのは有難いですね(上記の図④)。

(出典) 全国の学校における働き方改革事例集 (令和5年3月改訂)

## 事務職員と教職員の連携がとりやすい配置

京都府京都市立開建高等学校 | 「校務センター」として、事務室と職員室の機能を一つの大きな空間にまとめている。昇降口の近くに受付と事務職員エリアがあり、そのすぐ横に教職員エリアがあることで、事務職員と教職員がお互いの存在を感じながら仕事をする事ができる。些細な困り事もすぐに相談でき、教職員と事務職員が教育活動に協働して関わる体制の構築に役立っている。



(出典) 「ウェルビーイング向上のための学校施設づくりのアイデア集」 (令和6年9月)